

活動報告

団体名	箕面ユネスコ協会
活動名	令和元年台風19号に伴う災害ボランティア・NPO活動サポート
活動期間	2019年12月20日～2019年12月23日
活動の成果	<p>丸森町ボランティアセンターにおいて作業のガイダンス等を受けた上で、被災家屋の泥掻き、清掃活動と農地の復旧活動を行いました。</p> <p>これまで当会は、阪神大震災、東日本大震災原点とし、学生や青年たちが災害の支援活動を行うことで、深い学びを得てほしい、また、学んできたことを多くの人に伝えてほしいと考え活動してきた。農業を営む方が、脇を流れる沢が氾濫し所有する水田の大半が被害を受け復旧もできずに落胆しいたところ、大阪からわざわざきてくれ嬉しかった。私たちの活動でがんばる気持ちになったと語ってくれた。参加したメンバー一人一人が活動を通しそれぞれの地域の被災を受けた方や諸団体の参加者と信頼のネットワークを築くことが出来た。活動後は現地に入った学生を中心として大阪箕面の小学生で総合学習の授業を行う機会があり、「ボランティアをすることは『してあげる…』ではなかった。ぼくらは時間を提供する、すると、ぼくらは生きる意味を教えてもらうことができた・・・」と語り、次世代にボランティアの意義を伝えることもできてきた。また、現地に入り支援活動を行ったメンバーによるパネルディスカッションなどを開催、甚大な被害状況や多くの市民にボランティアは相互支援であること、現地でむしろ元気をもらうことができたことと活動の大切さを伝えた。丸森町の復興支援を行い、その意義を次世代に繋いで行ける成果が得られたと考える。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>当協会のように小さな団体ではボランティア活動への予算はなく、これまでは全て参加者がかなりの負担を負いながらも活動してきました。宮城県で再び起こった甚大な被害状況に、これまで行動をともしてきた若い世代も心を痛め支援活動を行いたいと言うも、特遠方へのボランティアは経済的な負担を伴います。助成を受けることができたことにより、活動をしたいと考えるユネスコスクール生や大学生が一人でも多く現地に入り支援活動を行うことができました。丸森町の復興支援を行い、その意義を次世代に繋いで行けたことに感謝しています。</p>

(活動のようす)

